

病害虫発生予察注意報 第2号

病害虫名：斑点米の原因となるカメムシ類

1 発生予想 斑点米の原因となるカメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

2 対象地域 県内全域

3 根 拠

(1) 7月下旬に実施した本田すくい取り調査(20回振)では、斑点米カメムシ類の捕獲地点率は県下全域で45.9%(平年24.0%)と高く、1地点当たりの平均捕獲頭数も3.2頭(平年0.6頭)と多かった。特に、東信地域及び北信地域は全般に多く、中信地域は一部で捕獲が多かった(表1、表2)。

また、近年は増加傾向にあるアカスジカスミカメは1地点当たりの平均捕獲頭数は、成虫が1.08頭(平年0.11頭)、幼虫が1.06頭(平年0.03頭)であり、いずれも平年と比べ多かった(表3、図1)。

(2) 7月23日に気象庁が発表した向こう1か月の予報では、「平均気温は高く、降水量はほぼ平年並」とされており、今後も斑点米カメムシ類の発生に好適な気象条件が続くと予想される。

4 防除対策と留意点について

(1) 斑点米カメムシ類は主に出穂期以降に水田へ侵入するため、出穂の早い品種(あきたこまち、酒米等)は被害を受けやすい傾向があり注意する。また、主要な加害種がカスミカメ類である地域では、品種によって割れ粃の発生程度が異なり、斑点米被害の発生リスクにも差が生じることから、防除対策の参考とする。

(2) 出穂期の畦畔の草刈りは、雑草に生息する斑点米カメムシ類を水田内に追い込む可能性があるため、原則として行わない。やむを得ず草刈りを実施した場合は、速やかに本田防除を併せて行う。また、登熟期間中、特に乳熟期から糊熟期にかけての草刈りについても同様に控える。

(3) アカスジカスミカメは、出穂期以降に本田への侵入が顕著となるが、ノビエ、シズイ、ホタルイ類等の穂を好み、これらの雑草が早期からの侵入・増殖を促して斑点米被害を助長するため、水田内の除草を徹底する。

(4) 本田防除で茎葉散布剤を使用する場合は、出穂10日後頃を目安に散布する。なお、斑点米カメムシ類の発生が多い地域では、さらに7~10日後(出穂17~20日後頃)に追加防除を実施することが望ましい。

(5) 粒剤を使用する場合は、キラップ粒剤は出穂期に、その他の粒剤は出穂7日後頃を目安に散布する。なお、粒剤はアカヒメヘリカメムシやクモヘリカメムシなどの中・大型種に対する防除効果が低いため、発生種を確認したうえで薬剤を選択する。また、粒剤の施用時は、田面を露出させない程度の湛水状態を保つ。

(6) 本年は高温傾向が続いていることから、出穂期が平年より早まる可能性がある。各ほ場の生育状況を十分に確認し、適期防除に努める。

(7) 薬剤の散布に当たっては、ラベルを確認し、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を遵守する。

表1 斑点米カメムシ類の本田すくい取り（ネット20回振）による捕獲状況（7月下旬）

	調査 地点数	捕獲地点率(%)			1地点当たり平均捕獲数(頭)		
		本年	平年	平年比(%)	本年	平年	平年比(%)
東信	15	46.7	15.3	304.3	7.1	0.3	2718
南信	15	26.7	32.9	80.9	1.3	1.1	123.3
中信	17	70.6	30	235.4	3.3	0.9	360.1
北信	14	35.7	15.1	236.1	0.9	0.2	500.1
県全体	61	45.9	24	191	3.2	0.6	502.4

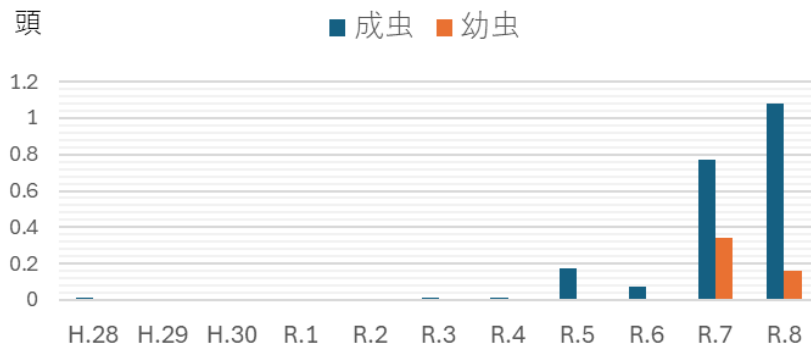
注1) 調査方法：本田においてすくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査
 注2) 捕獲地点率(%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合
 注3) 1地点当たり捕獲数：捕獲数計（成虫数＋幼虫数）÷調査地点数
 注4) 平年：平成28年～令和7年の平均値
 注5) 東信地域は上田で特に多く捕獲された

表2 斑点米カメムシ類の本田すくい取り調査による捕獲状況（7月下旬）

	捕獲数 合計(頭)	種別捕獲割合(%)						
		アカヒゲ トリカスミカメ	ホリミ アカスミカメ	アカスジ カスミ カメ	ホリハリカメムシ	アカヒメハリカ メムシ	トゲシラホシカ メムシ類	コバネ ネオウタ シナガ カメムシ
東信	106	45.3	48.1	0.9	1.9	2.8	0.9	
南信	20	0.0	5.0	95.0	0.0	0.0	0.0	
中信	56	42.9	42.9	8.9	1.8	3.6	0.0	
北信	13	38.5	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	
県全体	195	39.5	39.0	14.9	3.6	2.6	0.5	

注1) 調査方法、平年は表1に同じ

表3 県全体でのアカスジカスミカメの1地点当たり平均捕獲頭数（7月下旬）



注1) 調査方法：本田においてすくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査
 注2) 1地点当たり捕獲数：捕獲数計（成虫数＋幼虫数）÷調査地点数



図1 アカスジカスミカメの成虫（体長5～6mm）

(問合せ先)
 担 当 病害虫防除部 近藤、藤沢
 電 話 026-248-6471
 ファクシミリ 026-248-6473
 電子メール bojo@pref.nagano.lg.jp